

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 （ 工 学 ）	氏名	Annisa																
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当																		
<p>論 文 題 目</p> <p>A Study on Intelligent Area Selection Query (知的領域選択問合せに関する研究)</p>																			
<p>論文審査担当者</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">主 査</td> <td style="width: 15%;">准教授</td> <td style="width: 40%;">森本 康彦</td> <td style="width: 30%;">印</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>平嶋 宗</td> <td>印</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>栗田 多喜夫</td> <td>印</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>准教授</td> <td>亀井 清華</td> <td>印</td> </tr> </table>				主 査	准教授	森本 康彦	印	審査委員	教 授	平嶋 宗	印	審査委員	教 授	栗田 多喜夫	印	審査委員	准教授	亀井 清華	印
主 査	准教授	森本 康彦	印																
審査委員	教 授	平嶋 宗	印																
審査委員	教 授	栗田 多喜夫	印																
審査委員	准教授	亀井 清華	印																
<p>〔論文審査の要旨〕</p> <p>本論文（本研究）は、地図上で立地条件の良い領域を選別するのに有効なデータ問い合わせ機能を提案したものである。</p> <p>第1，2章では、領域を選別するための背景知識や関連する研究を詳述している。他の領域に比べ、何らかの意味で劣っていない特徴をもつ領域を「スカイライン領域」と呼ぶ。第3章では、スカイライン領域の定義とその問合せ手法を提案している。</p> <p>第4章では、スカイライン領域を効率的に計算するために有効な手法として、グリッドに分割した領域に対する選別手法を提案している。</p> <p>第5章では、スカイライン領域の変種のひとつである「リバーズスカイライン領域」について、その定義、算出手法、応用手法について詳述している。これは、簡単には、ユーザが指定したある領域に立地条件が似た領域を算出する機能である。</p> <p>最後に、第6章で提案手法の意義と今後の課題についてまとめている。</p> <p>口頭試問において、審査委員からの、計算を簡略化した手法でも目的を達成可能ではないか、選別された地域の利用法はどうするのか、地図以外のアプリケーションに利用できるのか、などの質問に対する説明を求められ、申請者はそれぞれに対し、的確かつ丁寧に回答することができていた。</p> <p>以上、審査の結果、本論文の著者は博士（工学）の学位を授与されるに十分な資格があるものと認められる。</p>																			

備考：審査の要旨は、1,500字以内とする。